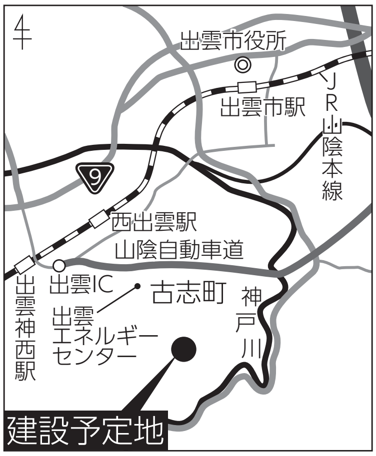
「次期可燃ごみ処理施設」（仮称）建設事業の実施状況をお知らせします。

市は、出雲エネルギーセンターの主要機器が耐用年数を迎えることから、これに替わる「次期可燃ごみ処理施設」の整備を進めています。

平成25年度から建設候補地の選定に取り組み、10か所の候補地から「古志採石場跡地」を選びました。そして、平成27年6月17日に、古志地区の事業同意を得ました。

可燃ごみ処理施設は、市民生活になくてはならない施設です。現在の事業の実施状況等について皆さんにお知らせします。



事業実施状況

◆循環型社会形成推進地域計画を策定しました。

国の補助事業を活用するために、市の廃棄物の現況把握や将来的な推計を行い、その処理に必要な施設を位置付けた計画を平成27年度に策定しました。

◆災害廃棄物処理計画を策定しています。

災害時には、大量のごみが発生し、通常の廃棄物処理ができない可能性が高いことから、実際に地震や水害などの災害が起きたときに、どのように災害廃棄物に対処するかを定めた計画を策定します。

◆施設基本計画を検討しています。

今年度から、処理方式や主要設備、運営方式などを定める計画の策定作業を行っています。廃棄物・環境・地方財政の有識者による専門意見をふまえて、来年度当初に策定予定です。

安全・安心で、環境にやさしく、エネルギー循環型の災害に強い施設を目指します。

◆環境影響評価に取り組んでいます。

環境影響評価とは、開発事業が周辺環境にどのような影響を及ぼすかを事前に調査・予測・評価することで、環境保全の観点からより良い事業計画を作り上げていこうという制度です。

上層気象調査の様子

現在、大気質や騒音・振動、水質、動植物などの現況調査を実施しています。今後、この結果をふまえ、環境がどのように変化するかを予測し、必要な対策を検討していきます。

◆敷地造成設計を実施しています。

今年度、敷地造成の詳細設計に着手しました。また、建設地周辺の市道等改良の詳細設計も別途実施しています。

魚類調査の様子

今後の事業計画

施設の建設工事にできるだけ早く着手できるように、今後、施設建設にかかる事業者選定、電気・給水施設の整備などを計画的に進め、平成34年度の稼働に向けて取り組んでいきます。

おたずね／
次期可燃ごみ施設整備室
☎㉑6886

宍道湖のヨシを刈ってみませんか？

昨年のヨシ刈りの様子

宍道湖の水環境改善を目的に、国・県・松江市・出雲市が連携して「ヨシ刈り取りボランティア事業」を実施しています。美しい宍道湖の環境を守るため、ヨシ刈り取りボランティアを募集しますので、参加してみませんか。

- とき／**2月25日（土）・3月4日（土） 9:00～11:00**
- ところ／**宍道湖西岸なぎさ公園**（斐川町坂田宍道湖岸）［現地集合・現地解散］
- 内容／鎌を使ってのヨシ刈り取り作業、ごみ拾いなど。
- 対象／どなたでも。中学生以下の方は、必ず保護者同伴で申し込んでください。企業・団体大歓迎です。
- 申込方法／**宍道湖水環境改善協議会事務局**にご連絡ください。折り返し「参加申込書」を送付します。
- 申込締切／2月20日（月）必着
- 持ち物／長靴、雨具、防寒着、タオル、飲み物など
  ★鎌、軍手は協議会で準備します。傷害保険も加入します。

おたずね・申込み／宍道湖水環境改善協議会事務局（松江市環境保全課内）
〒690-0826 松江市学園南１丁目20-43　☎ 0852-55-5271　FAX 0852-55-5497
電子メール k-hozen@city.matsue.lg.jp　ホームページ http://www.shinjiko-dandan.jp

◆ヨシってどんな植物？

【ヨシの特徴】

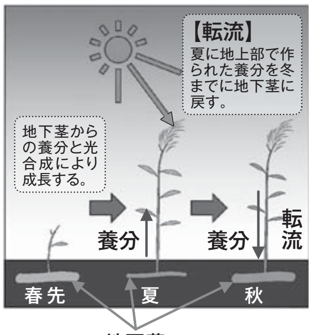
- ヨシは湖沼や河川の水辺、湿気が多くじめじめした場所に見られるイネ科の多年生植物です。盛夏によく成長し、高さは2mほどにもなる、とても背の高い植物です。
- ヨシは8月～10月ごろに茎の先に穂のような花を咲かせ、その後10月～3月には枯れますが、地下に広がった地下茎は冬を越え春にはそこから新芽がでてきます。
- 宍道湖の水辺にも、砂浜などの自然な場所で見られ、さまざまな生き物のすみかになったり、水をきれいにする働きがあります。

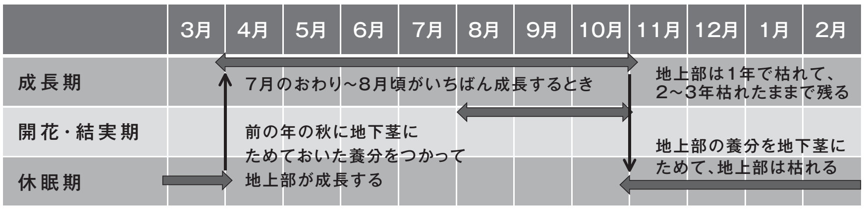
（宍道湖の水辺のヨシ）

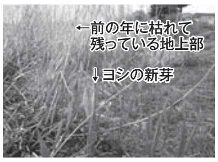
【ヨシの生態（季節変化）】

ヨシは、成長期につくった養分を、地下茎に貯めておき、翌年春に成長するときに使います。ヨシの地上部は1年で枯れてしまいますが、地下茎は数年間生き続けます。

【ヨシの中の養分の動き】

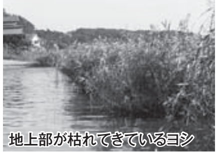






〔4月：新芽の頃〕

〔8月：ヨシの最盛期〕



〔11月：転流期〕

〔2月：休眠期〕